

事務事業名	木次健康温泉センター管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	産業施設グループ	課長名	飯島 昭
施策名	<36>観光の振興	担当者名	飯石陽一	電話番号	0854-40-1093 (内線) 2422
目的:対象	A)市外の人 B)市民 意 A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 3 5 0 1 項 目 中事業 中事業 0:5 2 0 1 1	観光施設管理事業 木次健康温泉センター管理 事業	
基本事業名	<107>受け入れ施設の充実				
目的:対象	観光客 意 図 観光施設を利用できる。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	地域住民の健康、福祉の向上、地元製品の販売及び地域活性化を図るため設置した施設。 温泉、和室等の施設管理運営 <指定管理者制度導入施設> 指定管理者 雲南都市開発株式会社 指定管理期間 平成30年4月1日～令和3年3月31日 (3年間)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動)	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動)				
	①指定管理者との年度協定締結 ②指定管理料支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリング実施 ⑤修繕及び工事 ⑥施設用地借地料支払い ⑦指定管理更新業務	①指定管理者との基本協定及び年度協定締結 ②指定管理料支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリング実施 ⑤施設用地借地料支払い				
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	ア 負担行為件数	件	20	15	9	8
	イ 支出命令件数	件	23	19	12	11
	ウ 修繕件数	件	17	12	6	5
	エ 委託件数	件	1	1	1	1

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	①市民 ②市外からの入込客	ア 日本の人口	千人	126,443	125,773	125,325	124,836
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	37,012	36,248	36,353	35,818
		ウ 観光入込客数	万人	129.8	145.7	98.6	136.0
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	①②利用できる	ア 入湯者数	人	107,791	106,370	69,607	106,370
		イ 入湯料	千円	42,659	42,549	27,999	42,549
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
【指定管理料】20,311千円 【修繕費】1,340千円 【賃借料】162千円 【工事請負費】9,130千円 【合計】30,943千円	事業費内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円	16,000	8,600	
		その他	千円	8,283	4,204	1,000
		一般財源	千円	20,104	21,153	21,003
		事業費計(A)	千円	28,387	41,357	30,943
【財源】合併特例債、木次健康温泉センター管理運営基金繰入金	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3
		延べ業務時間	時間	800	800	800
		人件費計(B)	千円	3,466	3,392	3,366
		トータルコスト(A)+(B)	千円	31,853	44,749	34,309

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> 温泉施設の衛生管理対策が厳しくなり、厳格な管理が必要となっている。 オープンから20周年を迎え、機器類の更新は進んだが、施設の老朽化に伴い大規模な修繕が必要となってきている。 H26年度はチップボイラーを設置したが、故障など不具合がある。 新型コロナウイルス(COVID-19)による影響がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者である雲南都市開発(株)と連携をとり、施設改修等を行い集客力維持に努めている。 温泉ポンプ等機器類の更新は、ほぼ完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者より、昨年度開館20周年を迎えたが、施設の老朽化が進んでいるため屋上防水シート改修工事などの大規模な修繕要望がある。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 施設の改修や新たなソフト施策により成果の向上(入浴客の増)は期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 観光客、交流人口の減少に繋がる。市民の健康増進のための利用施設が減少する。併設される木次勤労者総合福祉センターとの相乗効果が失われ、木次勤労者総合福祉センターの利用減少にもつながる。
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) 木次勤労者総合福祉センター管理事業 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 隣接する木次勤労者総合福祉センターとの一体的な利用を促進することにより相乗効果がある。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 最低限で指定管理しているため、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 指定管理者の修繕権限の見直しがあれば延べ業務時間は減らせる。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 基本的には一律に入浴料金を徴収し、ほぼ同様のサービスを提供している。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23年度の風呂施設改修後は、一時的に利用客の増加となったものの、近隣に温泉施設がオープンし、多少影響があった。指定管理者による月1回の薬草湯はとても好評で平常時を上回る利用客があり、ソフト事業の充実が成果の向上に繋がる可能性がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		